

—— 生き生きセンター ——



跳ね馬の嘶き

人生高らかに強く楽しく温かく

第29号 / 平成31年1月15日発行

公益社団法人 妙高市シルバー人材センター
妙高市姫川原760番地 / 電話 0255-72-0610
FAX 0255-75-5205



謹賀新年

松ヶ峯から妙高山を望む (会員：萩原棟治氏 提供)

新年のごあいさつ



理事長

市川 治男

新年あけましておめでとうございます。
平成最後の新春を迎え、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、昨今の世界情勢を見ますと、先行き希望を持てる要素は見当たりません。中、米の貿易摩擦による世界経済への影響、少子高齢化と人口減少、異常と思える自然災害の頻発等。

しかし、ピンチをチャンスと捉え、例えば人口問題に対しては、我々の参入する機会の増加が見込まれます。支援が必要な高齢者への家事援助、自然災害には地域の見守り、助け合い活動への参加促進などに向けて、新しい事業の開拓を検討しているところでございます。

以上のようなことを、センターの基本理念である「自主、自立、協働、共助」のもと、市や県、関係機関のご指導を賜りながら、会員、役員一丸となって諸課題に対応し、成果を出し、地域の皆様に信頼され、愛され、協力していただける組織にしていこうではありませんか。

亥年、皆様のご健康と無事故で素晴らしい一年でありますように、ご祈念いたします。

新年を迎えて

妙高市市長 入村 明



妙高市シルバー人材センター会員の皆様、あけましておめでとうございます。

皆様には、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より、シルバー人材センターの事業を通じて、自らの能力を活用され、生きがいづくりと地域社会の活性化に貢献いただいておりますことに対し深く感謝申し上げます。

全国的に進行している少子高齢化のなか、貴センターにおかれましては、高齢社会を支える重要な役割を担っていただいております、長年にわたり培われた豊かな知識や経験、技能を活かした、これまでの活躍が、仕事を依頼される幅広い層の方から信頼を得て、今後ますます地域を支える活動として重要になってきております。

このため、会員のお一人おひとりの更なるご活躍に期待いたしますとともに、貴センターにおかれましては、高齢者の就業機会の創出や地域社会のニーズに応える新たな事業への取り組みなど、重要な役割を担っていただいていることから、皆様方の力を結集され更なる発展と飛躍をされることを望んでいるところでございます。

市といたしましても、高齢者の皆様が地域の中でいきいきと、元気に生きがいを持って自分らしく暮らすことができるよう、今後も貴センターと連携を図りながら、地域のあらゆる場面において皆様が活躍できる場づくりに努めてまいりたいと考えております。

最後に、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますことを心からお祈り申し上げ、励ましの言葉とさせていただきます。

新年を迎えて



上越公共職業安定所
妙高出張所長

金子 淳治

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。さて、県内の景気は着実に回復を続けており、ハローワーク妙高管内の有効求人倍率は、平成三十年十月現在、二・二三倍で、雇用情勢についても着実に回復が進んでいると判断しているところです。

近年、少子高齢化の進展と、今後の労働力不足が課題となっている中、働く意欲のある高齢者が技能と経験を生かし、年齢にかかわらず働くことができ「生涯現役社会」を目指すことが一層重要となっております。

このような中、貴センターが、会員の皆様の多様な就業機会の確保と福祉の増進に取り組み、着実に業績を伸ばして地域社会に貢献されていることは誠に喜ばしく、深く敬意を表したいと思います。

ハローワークといたしましても、平成二十九年三月に国が策定した「働き方改革実行計画」に基づき、厚生労働省、新潟労働局の方針を踏まえて、意欲ある高齢者がエイジレスに働くための多様な就業機会を提供する取組について、貴センターとも連携しながら進めてまいりたいと考えております。

結びに、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、貴センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春のお慶びを
申し上げます
本年もよろしく
お願い
申し上げます

平成三十一年元旦

(公社)妙高市シルバー人材センター

理事長	市川 治男	理事	岡田 潔
副理事長	吉越 勝司	理事	尾島 隆司
常務理事	白倉 徳一	理事	霜鳥 保宏
理事	漆間 洋子	理事	田中 恒
理事	井上 唯利	理事	舟見 稔
理事	永井 賢	理事	柴田 憲正
理事	葭原 利昌	理事	

「励ましの言葉」

年頭のごあいさつ



新潟県議会議員

横尾 幸秀

新年あけましておめでとうござ
います。

会員の皆様には、お健やかな初
春をお迎えのこととお慶び申し上
げます。

貴センター様は、旧姫川原小学
校舎に事務所を移転され、日常業
務を行ってこられました。居心
地は如何でしょうか。この間、皆
様は会員による自主的・主体的な
運営と共働・共助のもとで働く貴
センターの基本理念に沿って、い
ろんな職場で培った経験を活かし
て、地域の様々なご要望に適切に
応えてこられましたことに対し、
心より敬意と感謝を申し上げます。
さて、我が国は少子高齢化によ
る恒常的な労働力不足が深刻です。
この解決策の一つに昨年暮れの臨
時国会で、外国人労働者の受け入
れ緩和が可能となりました。
しかし、雇う側も雇われる側も、



日常生活環境の違いや言葉の違
い、また、宗教と食文化の違いな
どで、軌道に乗るには時間のかか
る問題も多いものと思います。

そうなりますと、ここは豊かな
経験をお持ちの皆様方に、大いに
頑張っていただかなければなりま
せん。皆様方は、大変貴重な存在
です。どうか、健康にご留意の上、
社会貢献されますことを念じてい
ます。

結びに、貴センター様のご発展
並びに会員の皆様のご健勝ご多幸
を祈念申し上げ、年頭のごあいさつ
といたします。



「励ましの言葉」

新年を迎えて



妙高市議会議員長

植木 茂

新年あけましておめでとうござ
います。

会員の皆様におかれましては、
健やかに新春をお迎えのこととお
喜び申し上げます。

貴センターにおかれましては、
「自主・自立・共働・共助」の理
念のもと、地域の多様なニーズに
対応したシルバー活動を推進して
こられました。また、会員の皆様
の健康保持や生きがいの充実、福
祉の増進を図られ、豊かな経験と
知識・技能を活かした就業を通じ
て、地域社会の活性化に大きく貢
献されています。

高齢化が加速し、生産年齢人口
が減少する中、サービス業などの
人手不足分野や介護・育児等の現
役世代を支える分野で、高齢者の
就業によって下支えすることは、
国の経済・社会の維持・発展のた
めに極めて重要になっています。



また、健康で働く意欲のある高
齢者の皆様が就業を通じて社会参
加されることは、地域社会の保持
する大きな力になるところであり、
シルバー人材センターのますます
のご活躍に期待を寄せております。

今年の干支は「亥(いのしし)」
です。亥年には、「無病息災」の
意味もあり、病気にかかりにくい
年とはされておりますが、無理は
なさらず、会員の皆様が健康で活
発な活動を展開されることを期待
しております。

結びに、貴センターのますます
の発展と、本年が会員の皆様方に
とりまして幸多き年となりますこ
とを、心からお祈り申し上げます。
て、新年のご挨拶といたします。





▲妙高ふるさとまつりに初出展



▲お楽しみ会でのマジックショー



▲新しく購入した草刈機の講習会



▲一般市民も参加した剪定講習会



▲縄結びを学ぶ冬囲い講習会

あの日…
あの時…

スナップ集

みんなが楽しく活動し、地域社会にも積極的に貢献していこうと、新たな取組にも挑戦しました。そんな平成30年度の活動の一場面を切り取り、スナップ写真集として紹介します。



▲総会で安全十訓を唱和する出席者



▲三谷温泉と名古屋城の新名所を楽しんだ親睦研修旅行

年 男 年 女



70歳を越えて思うこと

岩崎 幸子(高峯)

新年明けましておめでとうございます。

今年は6度目の年女となりました。月日の経つのは、なんと早いのでしょうか。あっという間に70歳を越えてしまいました。

シルバー人材センターにお世話になってから7年目となりますが、消極的で講習会や会議にはほとんど出席せずに過ごしてきました。昨年8月には、お化粧の講習会があり、誘われて断れずに初めて参加しました。資生堂のプロの方に指導を受け、出席された方は皆別人のように変身。理事長もビックリされていました。はじめてお化粧したときのことが思い出されたひとときでした。

今年は、もっと行事に参加して、「残り少ない人生？」を多くの人と触れ合って楽しみたいと思う今日この頃です。



シルバー人材が生きがい

高橋 稔(栗原)

早いもので、シルバー人材センターにお世話になって5年が過ぎました。

会社勤めも終了し、自由な時間もたくさんあり、さて何をするかと考えましたが、なかなか思いつきません。ハローワークへも行きましたが、自分に合った仕事がなく、妻に勧められシルバー人材センターに登録しました。

最初の依頼は田植え、次はクリーンセンターのゴミの受け入れ等、その他数件の作業をして、現在はミヤトウ野草研究所の雑仕事をしています。

私の経験から、事務所から依頼があった作業について、すぐには断らないで、就業して自分に合っているか判断する。そうすることによって、次からも依頼が来るようになると思います。

仕事をすることで、社会の役に立っている実感があり、自分の生きがいにもなっています。皆様もぜひ、シルバー人材センターで生きがいを見つけてみてはどうでしょうか。



▲花見のイベント前恒例の経塚山公園清掃ボランティア



▲妙高地域で初めてのイベント準備ボランティア



▲完成したペンダントを披露する七宝焼き体験教室



▲「正月が楽しみ」と、門松づくり体験教室



先進地視察に参加して



高橋 兼雄 (諏訪町)

当シルバーにとって会員の増強や女性会員へのアプローチ等の課題が山積する中、私は就業開拓部会の一員として、先進地視察に参加しました。

今回の研修は、将来の経営方針に大きく風穴を開ける一步と心得ました。例えば七尾市シルバーは、複数のリサイクルショップを経営。店舗の中は、家庭から出た不用品の処分を請け負った際に、無料で引き取った日用品や洋服、家電、家具類などが安価で並んでいました。

その目的は、街なかで気楽に寄れる魅力的な場所と憩いの場の提供ですが、洋服のリサイクルや手芸のサークル活動への広がりとともに、新規会員の普及啓発活動となり、特に女性会員の増強につながっています。今回、仲間のシルバーが真剣に時代の風に乗って行動し、また、オリジナル品の発掘と開発に力を注ぐ現場などを見ることができました。自分が知らない土地への行動で視野が広がった研修成果を、少しでも活かして当シルバーの発展に努めたいです。

刺激的でおもしろい！



今井百合子 (大原新田)

入会したのは、「退職したらシルバーに入ろうかなあ」という知人の言葉がきっかけでした。

入会してすぐ草取班に入れていただきました。その後も何種類かの仕事をさせていただきました。今まで携わったことのない仕事など勉強になり、とても楽しく作業をさせてもらっています。

印象的だったのは、冬囲い講習会に参加した後、ある班長から声がかかり、冬囲い作業に参加したときです。私より一回り以上も年上の皆さんが、元氣いっぱい働いているので、本当に驚きました。

私も先輩たちのように長く続けていけるか自信はありませんが、シルバーはいろんな仕事があるので、とてもおもしろく、そして刺激的です。これからもできる範囲で、さまざまな仕事に挑戦していきたいと思えます。

初のボランティア活動



竹内 巧 (毛祝坂)

以前から仕事以外にも何かしてみたいと思っていたところ、会員だ

りで募集していた「妙高ふるさとまつり」の会場づくりが、妙高高原・妙高地域におけるシルバー人材センターが行う初めてのボランティア活動であることを知り、早速、参加することを決めました。

十一月三日の当日は、シルバー人材センターからたくさんの方が参加して、うれしい気持ちになりました。作業は、テントの設置でした。皆さんキビキビと楽しそうに、私もつられて楽しく気持ちよく作業ができました。

これからは参加できるものがあつたら、どしどし参加していこうと思っています。

多くの出会いと学ぶ場



阿部タミエ (田町)

私が、友達の勧めでシルバー人材センターに入ってから十四年になります。襖や障子はりが覚えたくて、その仕事に就きましたが、失敗ができませんという気苦労がありました。

そんなとき、草取りを手伝ってほしいという誘いがありました。もともと草取りが好きだったので、それを機に草取班に入りました。

草取りの仕事では、初めての家族に行き、その度に知人が増えていきます。仕事が終わって帰り支度をしているとき、「ありがとう、またお願いね」と声を掛けられると、疲れがぐっぴんに吹き飛んで、さわやかな気

持ちになります。

休憩中の班の仲間との会話も楽しく、漬物や煮物の話などで盛り上がり、あつという間に時間が過ぎてしまします。

この年になると人の名前や顔も覚えにくくなってきましたが、シルバー人材センターでたくさんの人と出会い、多くのことを学んでこれたことが、何よりも収穫です。

技能生かし役立ちたい



中島 進 (雪森)

シルバー会員になって早三年。戸惑いを感じながらの入会でしたが、旅行や親睦会などの行事もあり、楽しく仲間と仕事をしています。

入会して驚いたのは、元氣な会員が多いことです。地域に出て、緊張感を感じながら働くことで、健康が保たれているのかなと感じました。

今は核家族化が進んで若人も忙しく、家事に苦勞する家庭が多いようです。私の場合は、お客様と接する仕事が多くあります。仕事が終わって感謝と、温かいおもてなしの言葉をいただいたとき、何よりの喜びを感じます。

私は、これからの人生を、まだ働ける体と場所があることに感謝しながら、シルバーの一員として、自分が培ってきた技能を活かし、市民の皆様のお役に立てればと思います。

先進地から学ぶ

会員の増強と就業機会の拡大を図るための情報や知識を得ようと、十一月二十一日から二日間にわたり、先進地視察を行いました。

参加した理事、監事、地区委員、部会員ら二十名は、石川県七尾市、富山県高岡市、滑川市の三つのシルバー人材センターを訪問し、斬新な取組で成果を上げている状況を熱心に学んできました。

初めに訪れた七尾市は、家庭などから処分の依頼を受けた不用品のうち、再利用できる品物を販売するためのリサイクルショップを運営しています。

不用品の引き取りと運搬は男性会員が行い、洗浄や展示、販売などは女性会員が担当。現在、ショップは五店舗まで増え、女性会員の増大につながっています。



七尾市SCの説明を熱心に聞く参加者



高岡市SCのアンテナショップを見学

高岡市は、空き店舗を利用してアンテナショップを開設。女性会員を中心に会員手作りの小物や季節の野菜の販売、シルバー事業のPRや受注業務なども行っています。

また、これらの運営は、理事と会員でつくる運営委員会が毎月一回、事業の企画などを検討し、主体となつて取り組んでいます。

滑川市は、海洋深層水からの塩づくりを独自事業として実施しています。一会員の地道な研究から始まったこの事業は、滑川の特産を生み出し、女性会員の活躍の場となり、就業の拡大につながっています。

このほかにも当センターが参考にできる取組は多数あり、今後の運営に、大いに活かしていこうという意識の高まりを参加者一同、互いに実感することができました。

平成三十年度 事業経過

30/4/2	職員に辞令交付	9/4	派遣会員キャリアアップ講習会
11	経塚山公園清掃ボランティア	6	派遣会員キャリアアップ講習会
18	監査会、互助会の監査	11	安全パトロール
23	理事会	12	役員研修会(直江津)
26	地区委員会・互助会代議員会議	25	冬囲い講習会
5/16	草刈班長会議・草取り班長会議	26	冬囲い班長会議
23	安全パトロール	28	安全パトロール
25	定時総会(ふれあい会館)	10/10	安全パトロール
8/6	互助会役員会	11	仕事セミナー「冬囲い体験」
6/6	草刈機械安全講習会	12	県シ連設立20周年式典(新潟市)
8	安全・適正就業研修会	16	派遣・請負実務担当者会議
13	互助会役員会	17	安全パトロール
14	安全パトロール	23	県シ連個別指導
19	安全パトロール	24	下伊那西部SC視察来所
21	全シ協総会(東京都)	29	七宝焼き体験教室
25	県シ連総会(新潟市)	29	理事会
26	剪定初心者講習会	4	妙高ふるさとまつりボランティア
27	理事会	11/3	妙高ふるさとまつりボランティア
7/6	安全パトロール	6	県シ連安全パトロール
19	北信越シ協総会(富山市)	12	広報編集部
27	安全パトロール	21/22	先進地視察(石川県・富山県)
8/1	就業開拓部会	28	就業開拓部会
10	派遣元責任者講習会(東京都)	29	門松づくり体験教室
22	安全パトロール	30	お楽しみ会(やすね)
28	街頭PR(六十朝市会場)	12/7	安全パトロール
30/31	安全パトロール	12	広報編集部
	安全パトロール	15	除雪班長会議
	安全パトロール	19	広報編集部
	安全パトロール	21	理事会
	安全パトロール		

※毎月二十日入会説明会

シルバー人材センター キャッチフレーズ

「生きがいと 地域のニーズを 結びます」
 「地域に活かそう 豊かな知識と 経験を！」
 「あなたと歩む 地域と生きる」

新入会員

(平成29年12月21日～平成30年12月20日)(敬称略)

- | | |
|--------------|-------------|
| 数坂二三一(末広町) | 数坂 美子(末広町) |
| 井上 君子(上堀之内) | 倉俣 芳明(石塚町) |
| 中村 敏子(東雲町) | 高橋 正夫(上町) |
| 早津ユキ子(小出雲) | 広瀬 正明(十日市) |
| 丹羽 節子(田口) | 古川 昇一(田口) |
| 佐藤 光枝(白山町) | 池田 春男(西条) |
| 寺島 重幸(西条) | 岩崎伊佐夫(上百々) |
| 小山 清次(両善寺) | 高原 廣志(志) |
| 木原 和枝(猿橋) | 内田 勉(関山・横町) |
| 手崎 洋(関山・仲町) | 岡田 薫(関川) |
| 宮下 俊之(藤塚新田) | 峯村 明(除戸) |
| 関山 和秀(関山・仲町) | 飯吉アサ子(楡島) |
| 松田 雅子(小出雲) | 今井百合子(大原新田) |
| 鈴木 敏子(中原新田) | 古川 一広(関川) |
| 丸山 三枝(錦町) | 安達喜代子(中川) |
| 上原千恵子(中川) | 近藤榮太郎(十日市) |
| 岩崎 初好(小出雲) | 宮本 英子(青田) |
| 小島 齊(上濁川) | 笹川 了(関山・仲町) |
| 古川 邦雄(西田屋新田) | 堀川 一也(錦町) |
| 横田 進一(美守) | 間島美寿代(月岡) |
| 大島 剛(白山町) | 古川 忠行(栗原) |
| 藤本 良作(窪松原) | 今井 正和(川上) |

七宝焼き・門松の体験教室を初開催

センターの魅力アップとサークル活動や独自事業に発展することを期待して、七宝焼きと門松づくりの二つの体験教室を初めて開催しました。

七宝焼きは十月二十四日、上越市の山本正男先生を講師に迎え、勤労者研修センターで開催。男性一名を含む十一名が参加し、二つのペンダントづくりに挑戦しました。

門松づくりは十一月二十九日、吉越副理事長と姫川原地区の三名を講師に迎え、十名が参加しました。いずれの体験教室も参加者には好評で、継続を希望される声寄せられるなど、新たな展開に向けての期待が高まりました。今後も会員の皆



七宝焼きのペンダントを作る参加者



熱心に門松づくりに挑戦する参加者



妙高市シルバー人材センター事務局

- | | | | | |
|------------|-----------|------------|------------|------------|
| 管理主任 佐藤 弘子 | 業務係長 瀬戸 晃 | 事務局長 白倉 徳一 | 業務主任 新井 武司 | 管理係長 小林 綾子 |
|------------|-----------|------------|------------|------------|

事務局職員です。よろしくお願ひします。

さんが希望される活動に、積極的に取り組んでいきます。ご希望がありましたら、事務局までご一報ください。

編集

後記

記事としても取り上げましたが、先日「門松作り」の体験講習会を実施しました。参加された会員の皆さんからは、頑張って挑戦していただきましたが、力作を飾って良い正月を迎えられたでしょうか？

門松飾りは、平安時代の宮廷儀礼が由来とか！年神様をお迎えするための依り代(よりしろ)として飾るようになったとされていて、毎年お正月に豊作や幸せを家にもたらしってくれる神様を御迎えするときに、神様が宿される場所の意とされています。

門松の片付けは、地域にもよりますが、神社等の「どんど焼き」や「さいのかみ」のときを持って行き、お清めをしてからお焚き上げをもらうのが正しいとされています。

広報編集部長 吉越 勝司

